

# 寺本光朗先生略歴および業績

## 職 歴

昭和32年 3 月	同志社大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程 単位取得満期退学
昭和32年11月	財団法人世界経済研究所研究員
昭和46年 4 月	千葉商科大学商経学部専任講師
昭和47年 4 月	千葉商科大学商経学部助教授
昭和53年 4 月	千葉商科大学商経学部教授
平成15年 3 月	千葉商科大学商経学部教授定年退職
平成15年 4 月	千葉商科大学特任教授
平成21年 3 月	千葉商科大学特任教授期間満了

## 学会活動等

昭和39年11月	財団法人世界経済研究所 理事（平成4年2月まで）
昭和40年 4 月	財団法人世界経済研究所附属アジア・アフリカ研究所 副所長 （昭和60年11月まで）
昭和49年 9 月	日本学術会議 資源・エネルギー問題特別委員会委員 （昭和51年3月まで）
平成19年 6 月	NPO アジア・アフリカ研究所理事

## 研究業績

### 1. 単 著

昭和43年 3 月	『Political-Economic Problems Regarding African Revolution』	『日本学術会議 経 済シリーズ』43号
-----------	---	------------------------

昭和53年 7月 『新植民地主義と南北問題』 大月書店

## 2. 共 著

昭和34年11月 『戦後の世界政治』 三一書房  
昭和39年 1月 『民族解放の思想と行動』 労働旬報社  
昭和39年 7月 『AALA と新植民地主義』 勁草書房  
昭和39年 9月 『新植民地主義』 岩波書店  
昭和41年 7月 『AA 研究入門』 青木書店  
昭和42年10月 『AA の現状と日本』 勁草書房  
昭和45年 7月 『レーニンの今日的意味』 パピルス社  
昭和48年 6月 『現代日本資本主義講座—世界と日本』 青木書店  
昭和48年10月 『苦悩するアジアの民族』 時事通信社  
昭和50年11月 『チリにおける革命と反革命』 大月書店  
昭和50年11月 『危機にたつ戦後世界』 大月書店  
昭和52年 9月 『エネルギー政策の転換』 共立出版  
昭和53年 3月 『転換期の世界』 三省堂  
昭和55年 8月 『現代国際経済論』 学文社  
平成 7年10月 『現代資本主義と世界経済』 学文社

## 3. 論 文

昭和34年 5月 アラブ石油問題の新局面 『世界情勢旬報』  
1959年 5月中旬号  
昭和35年 9月 コンゴをめぐる国際資本戦争 『エコノミスト』  
1960年 9月 6日号  
昭和36年10月 アメリカのアフリカにたいする経済援助 『アジア・アフリカ研  
究』 第1巻第10号  
昭和37年 2月 欧州共同市場とアフリカ 『アジア・アフリカ研  
究』 第2巻第2号

昭和37年 3月	崩れ行く「ユーラフリカ計画」	『世界経済評論』 1962年 3月号
昭和37年 7・8月	アフリカにおける民族形成 (上, 下)	『アジア・アフリカ研 究』 第2巻第7・ 8号
昭和39年 1月	連合関係の「成果」とこれに代わるもの	『経済評論』 1964年 1月号
昭和39年 2月	コンゴ問題と新植民地主義	『歴史評論』 1964年 2月号
昭和39年 8月	植民地の過去と現在 (アフリカ)	『経済セミナー』 1964年 8月号
昭和40年 5月	日韓経済協力はどうか進展するか	『朝日ジャーナル』 1965年 5月10号
昭和41年 3月	アフリカ「逆流」の意味するもの	『エコノミスト』 1966年 3月12日号
昭和41年11月	インドネシアの経済危機	『経済』 1966年 6月号
昭和43年 3月	インドネシアをねらう米日独占	『経済』 1968年 3月号
昭和45年 3月	「ビアフラ問題」の若干の問題点	『アジア・アフリカ研 究』 第10巻第3号
昭和45年11月	今日の民族解放運動と民族自決権	『経済』 1970年11月号
昭和48年 4月	資本主義の全般的危機に関する 若干の理論問題	『千葉商大論叢』 第19号B (商経篇)
昭和48年10月	全般的危機と後進諸国の 社会経済発展の問題 (上)	『千葉商大論叢』 第11巻第2号 B (商経篇)
昭和49年 3・6・10月	中東紛争をめぐるアメリカの 石油戦略 (上, 中, 下)	『経済』 1974年 3・6・10月号
昭和49年 4月	アジア・アフリカ・ラテンアメリカの経済	『経済』 1974年 4月号

昭和49年 8 月	アラブの「石油戦略」にかんする 若干のコメント	『アジア・アフリカ研 究』第14巻第 8 号
昭和50年 8 月	新興独立諸国の政治経済発展の 過程と若干の展望	『アジア・アフリカ研 究』第15巻第10号
昭和51年 5 月	中東石油価格形成にかんする一試論	『千葉商大論叢』 第13巻第 5 号
昭和51年 6・10月	新植民地主義の先兵・多国籍企業 (上, 下)	『経済』 1976年 6・10月号
昭和52年 2 月	最近の一次産品世界価格に関する 若干の特徴	『千葉商大論叢』 第14巻第 4 号
昭和52年 2 月	一次産品価格の動向と発展途上諸国の 対応	『アジア・アフリカ経 済特報』 第17巻第 2 号
昭和52年11月	新植民地主義に関する一考察	『千葉商大「創立五十 周年記念論文集」』
昭和53年 2 月	後進諸国の非資本主義発展の諸問題	『アジア・アフリカ研 究』第18巻第 2 号
昭和53年 2・3 月	新国際経済秩序と発展途上諸国 (上, 下)	『アジア・アフリカ 経済特報』 第18巻第 2・3 号
昭和53年 9 月	中東原油価格形成の歴史過程とオイル・ ダラーの国際的還流に関する理論的研究	『千葉商大論叢』 第16巻第 2 号
昭和54年10月	NIEO に関するノート	『アジア・アフリカ研 究』第19巻第10号
昭和54年10月	新国際経済秩序と発展途上諸国	『世界経済評論』 第23巻第10号
昭和55年 1 月	南北問題の現段階	『日本の科学者』 1980年 1 月号
昭和55年 1・3・5 月	近年の民族解放運動の特徴 (上, 中, 下)	『アジア・アフリカ研 究』第20巻第 1・ 3・5 号
昭和55年 7 月	イラン革命とアメリカ帝国主義	『経済』 1980年 7 月号

昭和57年2・10月, 昭和58年2・4月	アミン理論に関する覚書 (1, 2, 3, 4)	『アジア・アフリカ研究』第22巻第2・10号, 第23巻第2・4号
平成元年6月, 平成3年6・12月, 平成4年3月	資本主義世界経済と後進諸国における資本主義の発展—マルクス主義理論の展開— (I, II, III, IV)	『千葉商大論叢』第27巻第1号, 第29巻第1・3・4号
平成2年6月	発展途上諸国における工業化の展開	『国府台経済研究』第2号
平成4年6月	発展途上諸国の所得分配に関する若干の問題	『千葉商大論叢』第30巻第1号
平成9年12月	ラテンアメリカ・東アジア両 NICS の工業化に関する比較分析試論	『国府台経済研究』第9巻第1号
平成13年12月	La Crisis Economica del Este de Asia: un Fracaso del Estado o del Mercado?	『千葉商大論叢』第39巻第3号
平成17年7月	「東アジア・モデル」と東アジアの通貨・金融危機に関する一研究	『千葉商科大学経済研究所 リサーチペーパーシリーズ』第35号

#### 4. 翻 訳

昭和36年7月	N. シトレ 『アフリカの心』	岩波新書
昭和38年9月	J. ウォデイス 『アフリカー内乱の根源』	法政大学出版局 (共訳)
平成3年11月	タマス・センテス 『世界経済の転換』	学文社 (校閲)

#### 5. 学会報告など

昭和40年11月	「アフリカにおける新植民地主義」	経済理論学会 第15回大会
----------	------------------	------------------

昭和49年 8 月	「今日の資源危機について」	日本学術会議22周年, 中国・四国地区シン ポジウム
昭和49年11月	討論「現代資本主義と資源問題」	経済理論学会 第22回大会
昭和52年 4 月	「多国籍企業とエネルギー問題」	日本学術会議 都市 調査会シンポジウム
昭和54年 6 月	「新国際経済秩序と発展途上国」	国際経済学会関東部 会
昭和56年 5 月	「中東の工業化と貿易」	日本貿易学会 第21回全国大会
平成10年 9 月	La Crisis Economica del Este Asiatics un Fracaso del Estado o del Mercado?	キューバ アジア・ オセアニア研究所
平成14年 9 月	Recent Asian Crisis and The East Asian Development Model	キューバ アジア・ オセアニア研究所